

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

最近、空前のペットブームですね。集合住宅や一人暮らしでも飼いやすいミニサイズの犬や猫などが人気です。

今回はちょっとした工夫やリフォームでペットにも人にも快適になる、住まいのあり方をご紹介します。



## 【ペットの生活場所はどこに?】

犬は庭の犬小屋、猫は外で放し飼いというイメージは過去のもの。

今やおうちの中で家族の一員として暮らしているワンちゃん、ネコちゃんの方がずっと多いのです。

ではペットもストレスなく、人も快適な住まいとはどんなもののでしょうか？

ペットは自分で好きな場所を見つけますが、寝る・食べる・トイレはなるべく一定の場所に飼い主が決めてあげます。

家族と同じ部屋に寝床を作ってあげるのもいいですが、家族と同じ布団で寝る場合には寝具にひと工夫しましょう。

抜け毛がつきにくく、洗濯しやすい素材のものを選んで、こまめに布団を干したり洗濯を。

臭い消しスプレーなども活用しましょう。

食事場所は台所の近くがよいでしょう。後片付けや掃除などがしやすいので便利です。普通台所の床材は水や汚れに強いものが貼られているので、ペットが食べ散らかしたり吐き出したりしても安心です。

人と一緒に食事をしたがるので、ダイニングから見える場所に設置してあげましょう。

トイレは玄関のわきやベランダ、洗面所など寝食の場所から離れていて拭き掃除がしやすいところに置きます。

## 【ペットと暮らす理想のリフォーム】

ペットが自由に遊べて、飼い主は世話がしやすく、いつも一緒にいられる家。そんなコンセプトの「ペット共生住宅」は、これからの大きなテーマのひとつ。

ペットと暮らすための新築やリフォームへの関心も高まっています。

犬は散歩が日課ですから、出入り口には温水の出る足洗い場があれば理想的です。

できればラクにシャンプーできる専用のグルーミングスペースも。

ウッドデッキや中庭を設ければ、ペットも開放感の中で暮らせます。

雨や寒い日も快適に過ごせるサンルームもいいですね。家の中を自由に行き来できるよう、柱や壁のない広々とした空間をつくり、床材はずべりにくく、掃除がしやすく、傷に強く、万が一ペットが汚してしまっても安心できるものにしましょう。

ネコに必要なのは広さより高さ。吹き抜けの天井に梁やキャットウォークをつくり、壁には猫用階段を設けて部屋全体をタワーのようにするとよいでしょう。各部屋の間には抜け穴と、外を見るのが好きなので日向ぼっこができる出窓もつくってあげたいですね。

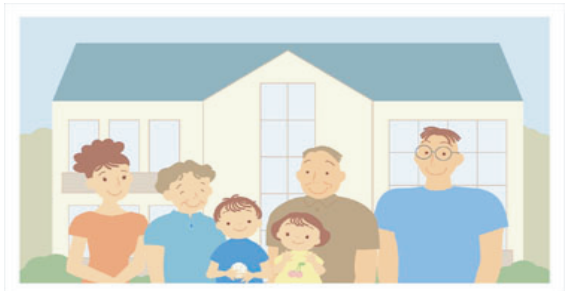
特にペットが留守番をすることが多い家は、温度管理や換気などの効率を考えると、高断熱・高气密住宅がおすすめです。

### プチ情報1 節電傾向で入浴スタイルを見直す人も！

給湯器会社の調査によると、節電のために、入浴スタイルを見直している人が、約4割いることがわかりました。「水やガスなどの使用量をきにするようになった」という人が一番多く、次に「浴槽にお湯をためず、シャワーが増えた」「シャワーや水を出しっぱなしにしなくなった」「風呂の残り湯を再利用するようになった」などが続きました。ちなみに、最適な給湯エネルギーについてはガスや電気に加え、太陽エネルギーでの発電と答えた人が30%近くに、エコ意識の高まりを反映した結果となりました。

### プチ情報2 ファストフィッシュでお魚をもっと手軽に♪

「ファストフィッシュ」とは、骨などが取り除かれるなど、下処理済みで手軽に食べられる魚のことです。すでに味付け済などの加工品もあります。魚をさばく面倒もなく、料理の時間短縮や生ごみが減るといったこともあり、人気を集めています。このような商品が出回るのには、日本人の魚の消費量減少にあります。1日あたりの魚の消費量が過去10年間で約2割減に。さらに、食の欧米化が進み、肉の消費量が82.5gと、魚の72.5gを上回っているのだそうです。そこで、もっと魚を食べてもらおう!と行政も力を入れ、水産庁が毎月、全国のファストフィッシュ商品を40~70商品選定。大手スーパーも取り扱いを始めています。その購買層は若者はもちろん、年配の主婦にも人気だそうです。栄養たっぷりの魚をもっと食べましょう。



TOYAスマイル倶楽部事務局  
今治市玉川町中村甲677-7  
有限会社十弥工務店内  
TEL (0898)36-8182  
FAX (0898)36-8183  
E-mail : toya-info@toya.co.jp